

009	From Editor
011	表紙の時計 / モンブラン「ヘリテージ パーペチュアルカレンダー」
013	Editor's Choice!
	ブレゲ「マリーン クロノグラフ 5527」 / ジャケ・ドロー「グラン・セコンド クロノグラフ」 /
	ジラルド・ペルゴ「ロレアート アブソルート クロノグラフ」 / カール F. ブハラ「ヘリテージ バイコンパックス アニマル」 /
	ベル&ロス「BRV 2-92 ミリタリー ベージュ」
018	世界は時計で回っている。
020	ヴァシユロン・コンスタンタン「エジエリー」コレクション
022	現代の女性たちの時を刻むことを願って
	ポルシェ・デザイン「911 クロノグラフ・タイムレス・マシーン・リミテッド・エディション」 /
	「1919 グローブ タイマー UTC」
024	F.A. ポルシェのデザイン哲学を受け継ぐリスト・ウォッチ
	スピークマリン「ワン&ツリー アカデミック フルムーン」 ^{38mm}
028	身近な天体の月を色でとらえたムーンフェイズ・ウォッチ
	ヘルムレ「テリリウム」
031	天体の動きを目で、時の移ろいを耳で知る天文クロック
	LVMH ウォッチ ウィーク 2020
051	変わりゆく時代の選択
	1月13日から3日間にわたってLVMHウォッチジュエリーのブルガリ、ウブロ、タグ・ホイヤー、ゼニス世界各国から プレスや販売店関係者を招いてドバイで新作発表会を開催した。ここでお披露目された各ブランドの新作をご紹介します。
	2020年新作情報(日本メーカー編)
062	発表の環境を変え、それぞれの個性をアピール
	シチズン、セイコー、セイコーエプソンは毎年春と秋の2回、合同で新作を発表してきた。しかし今年はそのそれぞれが 会場を変えて、新たなスタイルで今年前半の新製品を披露した。ブランド別にそれらを見てみたい。
	グラントセイコー60年の歩み

009	From Editor
011	表紙の時計 / モンブラン「ヘリテージ パーペチュアルカレンダー」
013	Editor's Choice!
	ブレゲ「マリーン クロノグラフ 5527」 / ジャケ・ドロー「グラン・セコンド クロノグラフ」 /
	ジラルド・ペルゴ「ロレアート アブソルート クロノグラフ」 / カール F. ブハラ「ヘリテージ バイコンパックス アニマル」 /
	ベル&ロス「BRV 2-92 ミリタリー ベージュ」
018	世界は時計で回っている。
020	ヴァシユロン・コンスタンタン「エジエリー」コレクション
022	現代の女性たちの時を刻むことを願って
	ポルシェ・デザイン「オーケロノグラフ・タイムレス・マシーン・リミテッド・エディション」 /
	「1919 グローブ タイマー UTC」
024	F.A. ポルシェのデザイン哲学を受け継ぐリスト・ウォッチ
	スピークマリン「ワン&ツァアカデミック フルムーン」 ^{38mm}
028	身近な天体の月を色でとらえたムーンフェイズ・ウォッチ
	ヘルムレ「テリリウム」
031	天体の動きを目で、時の移ろいを耳で知る天文クロック
	LVMH ウォッチ ウィーク 2020
051	変わりゆく時代の選択
	1月13日から3日間にわたってLVMHウォッチジュエリーのブルガリ、ウブロ、タグ・ホイヤー、ゼニス世界各国から プレスや販売店関係者を招いてドバイで新作発表会を開催した。ここでお披露目された各ブランドの新作をご紹介します。
	2020年新作情報(日本メーカー編)
062	発表の環境を変え、それぞれの個性をアピール
	シチズン、セイコー、セイコーエプソンは毎年春と秋の2回、合同で新作を発表してきた。しかし今年はそのそれぞれが 会場を変えて、新たなスタイルで今年前半の新製品を披露した。ブランド別にそれらを見てみたい。
	グランドセイコー60年の歩み

ヴァシユロン・コンスタンタン、エジエリー、コレクシヨ

現代の女性たちの時を刻むことを願って

ヴァシユロン・コンスタンタンは新しいレディー・ス・ウォッチのコレクシヨンを3月に発売した。エジエリーと名づけられ、現代女性の心に響くことを願い、オートクチュールの技法に着目して、フェミニンさの表現が追求された。



「エジエリー・ウォッチ」。ベゼルに62個(約0.5ct)のラウンドカット・ダイヤモンドをセットした直径30.00mm×暑さ8.13mmの18KPGケースにスイス製ウォッチ・ムーブメントを搭載する。3気圧防水。インターチェンジャブルのアリゲーター・ストラップを3本付属し、カラーはサテン調のキャンディッドチェスナッツ(右の時計)、セミマット仕上げのラズベリーピンク、ナイトブルーを揃える。価格209万4400円。



ヴァシユロン・コンスタンタンから、エ

ジエリーと名付けられた、女性に向けたまったく新しいコレクシヨンが誕生した。

エジエリーの名はローマ神話に登場する精霊のエゲリアが語源で、エゲリアは森や川に宿ってこれらを守り、また美しい若い女性の姿をしているという。そこでエジエリーは広く現代の女性たちを意味する。

今日、ヴァシユロン・コンスタンタンでは、パトリモニー、トラディシヨナル、オーヴァーシーズ、マルタの各コレクシヨンにレディー・ス・モデルを揃える。また2015年にはアール・ヌーヴォー、アール・デコ、そして1970年代の3型のスタイルをテーマに女性のための7つのジュエリー・ウォッチから成る、ウール・クレアティブが発表された。こうしてみるとメンズ・ウォッチと同じデザインのサイズ違いが多くを占めてはいるが、ヴァシユロン・コンスタンタンは女性に向けて多様な選択肢を揃えていることになる。

メゾンのアーカイブを紐解くと、19世

紀前半には王族や貴族といった高貴な階級の女性たちのリクエストに応じて、複雑機構を納め、豪華な装飾を施したゴールドの懐中時計が製作されたことがわかる。19世紀後半になるとエナメルや宝飾細工、彫金を施したペンダント・ウォッチやブローチ・ウォッチが作られた。さらに1889年にはヴァシユロン・コンスタンタンの歴史のなかで最も古いと考えられる腕時計が製作され、パリ万博に出品されたという。これはふたりの女神の彫刻を施したゴールドのバンダに小さな時計をはめ込んだもので、ベゼルを回して巻き上げる機構を備えていた。

20世紀に入るとアール・ヌーヴォー、アール・デコなど、時代の流れに沿ったデザインのダイアモンド・ウォッチが数多く生み出された。また1970年代には大胆なデザインのゴールド・ウォッチで創造性が発揮された。

このような流れを受けたエジエリーは

ポルシェ・デザイン「911クロノグラフ・タイムレス・マシーン・リミテッド・エディション」、 「1919グローブタイマーUTC」

F.A.ポルシェのデザイン哲学を受け継ぐリスト・ウォッチ

ポルシェ・デザインは2017年に再びポルシェ・グループ傘下となりスイスに時計専門の会社と工房を設立して、腕時計の製造に本腰を入れた。しかし過去に築かれたデザインの路線を崩すことはない。ここに取り上げた新作もわかりである。

ブツイイの愛称で知られるフェルデ
イナント・アレクサンダー・ポルシェは、
1964年にデビューし、今なお生産が
続けられる長寿のポルシェ911をはじめ
め、1960年代に大成功を収めたレー
シング・モデル、カレラ6やカレラ10な

どの素晴らしいデザインを手がけた。だ
が、インダストリアル・デザイナーでも
あった彼は、このほかにも1970年代
後半にチタニウム・ケースのスポーツ・
モデル、ポルシェ・デザイン・ウォッチ
を作り出したことでも知られている。1



長い方の針でセカンド・タイム、短い針でデイトを表示する「1919グローブタイマー
UTCチタニウム」。9時の丸窓はデイ&ナイト表示。写真はブレスレット仕様で101万
2000円、ストラップは96万8000円となる。

972年にポルシェ・デザイン社を設立
し、IWCとの共同製作によって誕生し
たのが、大ヒットを飛ばしたこの時のス
ポーツ・クロノグラフであった。その当
時のポルシェの輸入代理店である三和自
動車の目黒シヨールームのウインドーに
は、スタイリッシュな折りたたみ式のサ
ングラスとともに、この精悍なリスト・
ウォッチが置かれていたことを思い出す。
さて、そのポルシェ・デザインは20
17年に元の輔であるポルシェ・グルー
プに収まり、引き続き精力的に時計の製
造を続けているが、現在生産されている
一連のモデルの中で主軸をなすのが左右
のラグを一体化し、ケースとの間に大き
な空間を作り出した1919コレクション
だ。2016年にデビューした本機の
特色は、大胆なデザインを採用しながら
も、ケースからストラップへとつながる
「線と面」がごく自然に仕上がっているこ
とである。つまり、そこには奇をてらつ

た意匠がまったく見当たらないことで、
これは今は亡きブツイイがクルマや時
計、さらに筆記用具などに施したデザイ
ンに一脈通じる部分とも言えるだろう。
ここでは、その1919コレクション
の新作の中からふたつのモデルを紹介し
よう。まずひとつは「1919グローブ
タイマーUTC」である。その名のおお
り24時間表のセカンド・タイム表示をダ
イアル周囲につけ加えた仕様で、その時
刻は3本目のセカンド・タイム針が担当
する。面白いのは、一見するとクロノグ
ラフ用のプッシュ・ボタンを思わせる上
下ふたつのプッシャーを装備しているこ
とだ。だが、実はこれは時刻針を1時間
ずつ前後に動かすためのもので、たとえ
ば複数の国を移動するジェットセッター
にとってみれば実用的なことこの上もな
い機構である。ちなみにそのデザインは、
コレクションの中のクロノグラフ・モデ
ルと瓜二つである。



LVMH ウォッチ ウィーク ドバイ 2020

変わりゆく時代の選択

1月13日から同15日までの3日間、LVMHウォッチ・ジュエリーに属するブルガリ、ウブロ、タグ・ホイヤー、ゼニスが新作時計の発表会をドバイで開催した。4月末から5月初めにかけて行われるバーゼルワールドの前哨戦ともいえる発表会だったが、昨年までの1月のジュネーブの寒風とは打って変わり、ドバイの快適な気候の心地よさのなかでいち早く新作に触れる機会となった。

2020年新作情報〈日本メーカー編〉

発表の環境を変え、それぞれの個性をアピール



2月初めに日本の時計メーカー3社の新作発表会が開かれた。昨年まではひとつの会場に各社が集結して発表を行っていたが、会場が手狭になったことなどを理由に今年は同時期にそれぞれが異なる場所に会場を設けて新作をお披露目した。今夏までに発売が予定される新作をブランド別に取り上げた。

グランドセイコー 60年の歩み

1960年12月18日に発売された初代グランドセイコー。手巻きのCal.3180を搭載した80ミクロンの14K金貼りケースで、その直径は34.8mmだった。価格は当時の大卒の初任給の2倍近い2万5000円。ほかにPt950ケースもわずかながら作られ、14万円で販売されたが、生産個数が非常に限られ、「幻のモデル」とされる。これに因んで今年の初代復刻モデルシリーズにはPt950も製造された。



1967年発売の62GS。グランドセイコー初の自動巻きモデルで、Cal.6245(日付表示付き)を搭載した。ほかにデイト表示のCal.6246もあり、精度は日差-3秒~+6秒。ケースはSSのほかに200~300ミクロンのゴールドキャップ仕様も作られた。



1967年発売の44GS。手巻きのCal.4420を搭載し、1966年に制定された「グランドセイコー規格」を採用し、精度は日差-3秒~+6秒であった。またグランドセイコーのデザインの基本となったモデルで、「毅然と輝くウォッチ」を目指して、「セイコースタイル」が確立された。



1964年に発売された57GS「セルフデーター」。初代のCal.3180に日付表示機構を追加したCal.5722を搭載し、リュウス操作で日付の修正が可能であった。またケースにパッキンを入れて裏蓋をねじリングで固定し現在の3気圧防水相当を実現。プレスレットや18KYGケースも作られた。

1960年12月18日に発売された「グランドセイコー」は高精度を追求して誕生した腕時計だった。当時の「クラウン」をベースにさらに精度を高めた手巻きのCal.3180(直径28mm×厚さ4.4mm。25石、毎時1万8000振動)を搭載し、諏訪精工舎(現セイコーエプソン)によって開発、製造が行われた。ムーブメントは耐衝撃装置の「ダイヤショック」と、特殊合金で作られ錆びにくいゼンマイの「ダイヤフレックス」を装備し、保油機構には「ダイヤフィックス」が使われた。また秒針停止装置を備え、正確な時刻合わせを可能にした。

初代モデルの文字盤を見ると、12時位置のGrand Seikoのロゴの下にChronometerの文字がある。これはスイス時計歩度公認検定局のクロノメーター試験と同様の検査、すなわち日差、姿勢差、温度誤差、日較差、復元差などについて15日間にわたって検査を行い、「優秀級」の規格に合格したことを示したもので、歩度証明書とともに販売された。ケースは14金貼りだったが、文字盤の6時位置の星のマークはインデックスに14Kあるいは18Kを用いたことを意味した。

ところで1961年12月に発行された

KESAHARU IMAI
Publisher

TOMOKO KAYAMA
Editor in Chief

KAZUO TSUBOI
Advertising Director

SHUNSUKE OGAWA
Production Director

HIROSHI SASAGAWA
Circulation Manager

DTP
BASE

Correspondent
Washington, D.C. Bureau
(Pictorial Press International)
Mikako Burks

Cover Photo/
Takenori Aoki (WPP)

●本誌に掲載されている価格は
令和2年2月29日現在の調べによるものです。
本文中の価格は消費税(10%)込みの総額表示
です。
© WORLD RHOTO PRESS 2020

【特集】2020年新作情報

4月28日から5月5日までバーゼルワールドが開催予定となっております(2月27日現在)。
一方、今年の4月25日から同27日にジュネーブで予定されていた

「ウォッチ&ワンダーズジュネーブ(旧SIHH)」の開催は中止されました。
スウォッチグループの6ブランドによる「タイム・トゥ・ムーブ」も

3月にチューリヒで行われることになっていましたが、
コロナ・ウィルスの感染拡大の影響で中止となりました。

しかし各ブランドは各国で新作をお披露目することになると考えられます。
次号では例年通りに今年の新作をブランド別に取り上げます。

人気のスポーツ・タイプ・ウォッチ——近年、数多くのブランドが
ステンレススチールのブレスレット仕様、そしてブルーの文字盤のモデルを発売しています。

昨年A.ランゲ&ゾーネやシヨパール、ベル&ロス、
テイソなどがこうした新作を発表しました。
それぞれの個性を探ります。

「世界の腕時計」第144号は2020年6月下旬発売予定です。

世界の腕時計 定期購読のご案内

毎号、送料無料でお届けします!

お近くに書店のない方、毎号確実に入手したい方
便利な定期購読を是非ご利用ください。
特別定価アップ分、および送料はサービスいたします。

【年間購読料】

1年間(年4冊) **6,704円(税込)**
(3月、6月、9月、12月・8日発売予定)



【お申し込み方法】

フリーダイヤル 富士山 富士山

- お電話で(年中無休24時間受付) **0120-223-223**
- インターネットから <http://fujisan.co.jp/sekainoudedokei>
- 携帯電話から <http://223223.jp/m/sekainoudedokei>
- QRコードから 上記QRコードからアクセスして下さい。

【お問い合わせ】

富士山マガジンスerviceカスタマーセンター
パソコンサイト:<http://fujisan.co.jp/cs>
メールの場合: cs@fujisan.co.jp
に、お問い合わせください。

■注意事項

- 定期購読の契約は、富士山マガジンスerviceとの契約となります。
- お支払いのタイミングによっては、ご希望の開始号が後ろにずれる場合がございます。
- 地域によっては、発売日より商品到着が若干遅れる場合がありますので予めご了承下さい。
- 定期購読は原則として途中解約はできませんので予めご了承下さい。

編集の都合上、内容が一部変更となる場合もありますので、ご了承ください。

お詫びと訂正：第142号に以下の誤りがありました。
表紙(正)「ツァイトヴェルク・デイト」。(誤) ツァイトヘルク・デイト
P19 キャプション (正) 限定ではありません。(誤) 100個の限定生産
P79 右のキャプション(正)「「ダンディ」コレクション ダンディ ウォッチ ラージモデル」
(誤)「「ダンディ」コレクション ウォッチ ダンディ ラージモデル」

ワールドフォトプレス ホームページ <http://www.monomagazine.com>

WORLD M O O K

ワールド・ムック1220

世界の腕時計

No.143

令和2年4月15日発行

発行人……………今井今朝春

編集人……………香山知子

発行所……………株式会社ワールドフォトプレス

〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2

編集部……………☎03-5385-5667 FAX.03-5385-5617

広告営業部…☎03-5385-1350 FAX.03-5385-1348

販売部……………☎03-5385-5701 FAX.03-5385-5703

印刷所……………大日本印刷株式会社

- 造本には十分注意しておりますが、万一、落丁・乱丁などの不良品がありましたら
小社・販売部宛てにお送りください。送料小社負担にてお取替えいたします。
- 本誌掲載記事の無断転載・複製・転写を禁じます。